

主催：韓国木簡学会 早稲田大学朝鮮文化研究所

共催：木簡学会

韓国木簡と日本木簡との対話 —韓国木簡研究 20 年—

1999 年に城山山城木簡の国際シンポジウムが国立金海博物館において開催され、韓国木簡が初めて国際的な学術研究の対象として注目されました。それ以後、2007 年には韓国木簡学会が創立され、韓国木簡研究が本格化しました。とりわけ日本木簡との比較研究によって韓国木簡の東アジアにおける位置づけに関する議論も盛んになりました。この 20 年を振り返り、日本木簡研究者から韓国木簡に対する所見を頂き、韓国木簡と日本木簡との対話を試みたいと願っています。



ワークショップ 1月 19 日（土）13:30～17:30

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33 号館 第 1 会議室

基調講演：平川 南（人間文化研究機構 機構長）

「韓国木簡との出会い」

発表：市 大樹（大阪大学） 馬場 基（奈良文化財研究所）

田中 史生（早稲田大学） 鐘江 宏之（学習院大学）

討論：尹 善泰（東国大学） 崔 鉛植（東国大学）

金 秉駿（ソウル大学） 権 仁翰（成均館大学）

特別講演会 1月 19 日（土）11:00～11:50

佐川 英治（東京大学）

「4, 5世紀を境とする東アジア世界の変化」

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33 号館 第 1 会議室

主催：早稲田大学朝鮮文化研究所 韓国木簡学会

参加無料・申込不要

【問合せ】kn-ueda@fuji.waseda.jp （植田）